

甲斐市立竜王西小学校 自己評価書

平成31年 1月25日 (金) 作成

校長 「 興水 政仁 」 記述者 職名 (教頭) 「 丹沢 貴浩 」

学校教育目標「自ら学び、自ら考え、進んで行動する、心豊かでたくましい児童の育成」

学校経営方針

「21世紀を担う人間性豊かで、社会の変化に対応できる生きる力の育成」をめざし、学校教育の充実に努める

- (1) 確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和のとれた教育活動を推進する。
- (2) わかる、楽しい授業づくりをめざす。
- (3) 全職員の共同体制「チーム竜西小」の教育活動を推進する。
- (4) 家庭・地域と信頼し合い、安全で安心な開かれた学校づくりに努める。

1 全体評価

○教職員アンケートからは、謙虚に自己を見つめ、まじめに一生懸命に教育活動を行っている様子がわかる。○保護者アンケートからは、自分の子どもが、楽しく学校生活を送っていることや生活習慣にも関心が高く指導している様子がわかる。しかし、少数とは言え朝食の問題や読書活動などは、大きな課題である。学校と保護者の連携をこれまで以上に密にすることで改善をしたい。○児童アンケートからは、全体的に肯定的な回答が多く、学校生活を楽しく有意義に過ごしている様子がわかる。○三者の相関からは、意識の開きが明確になり、その開きをなくすために、目に見える取組と結果を出していくことが大切である。

○創甲斐教育の数値目標については、「将来の夢や希望を持っている」差-3.4%、「国語の授業がわかる」差-3.7%で若干下回った。「不登校児童生徒の割合」は、本校は0%であり達成した。今後も数値目標を達成することを視野に入れながらより意識した取組を行う。

2 項目ごとの評価結果 (達成状況・改善策)

I 学校教育目標に関して・学校経営について

達成状況 肯定的な評価が多く、目標を具体的に意識して、一生懸命に教育活動を行っている。学校としてPDCAサイクルで教育活動を行っているが、自身の教育活動を謙虚に反省している面もある。職場の福利厚生や健康管理への配慮に課題がある。これは、年度初めや秋の行事の多い時期に仕事量が増え、そのため時間外勤務が増えたためである。

改善策 PDCAサイクルを学校全体はもちろん個人内でも、より意識した教育活動ができるように、連携・協力体制を一層機能させ、教育活動計画の推進を図っていく。教員が授業や授業準備等に集中し、教育の質を高められる環境を構築するため働き方改革を尚一層推進していく。

II 学校運営について (保護者用アンケート等も含めて)

達成状況 肯定的評価が多く、「施設設備の点検・処理・報告」や「個人情報保護・情報セキュリティ」「報告・連絡・相談」に関しては特に高い。学校運営が順調に機能していることが読み取れる。危機管理マニュアルの徹底には課題が残る。校内研究は、研究主任のリードのもと、児童の学力向上・道徳の教科化に伴う課題への対応が組織的に研究を進めることができた。保護者用アンケートからは、学校との連携・協力もよいことがわかる。

改善策 「危機管理マニュアル」の徹底と教員の危機意識の改善のため、校内研究会で研修を計画する。実践的な避難訓練の実施をする。あらゆることを想定したマニュアルの見直しを行っていく。教科横断的な教育課程の編成と実施をする。保護者との連携・協力を図るために、今後も、HP・学校開放日・各種通信を充実させる。

Ⅲ 学習指導について （児童生徒用及び保護者用アンケート等も含めて）	
達成状況	学習指導全般で、意欲的な教育活動が推進されている。「評価基準と評価方法の明確化」が課題となったが、今年度始まった道徳科のことである。児童用・保護者用アンケートからも「授業がわかりやすく、よく教えてくれる」という評価である。保護者は、自主学習や読書活動をもっと充実させたいという願いがある。
改善策	評価については、校内研究会でテーマとして取り上げ、研修計画を立てる。授業力の向上については、研究授業の充実、管理職の日常の授業観察と指導、教員のお互いの授業について意見交換等を活発にできるようにする。自主学習や読書活動は、保護者との連携・協力を進め、帰りの会で自主学習や家読の計画をたて、さらに家庭の様子が担任に伝わるような取組を計画し、保護者といっしょになってやっていく。
Ⅳ 生徒指導について （児童生徒用及び保護者用アンケート等も含めて）	
達成状況	いじめは、積極的な認知と100%の解消率を目指し、定期的な調査や日頃の様子を注意深く見た結果、目標を達成した。不登校は、0名である。日頃からのきめ細かな指導や保護者との連携がうまく機能した結果だと評価できる。多くの児童は、学校が楽しく友だちもいて充実した学校生活を送っている。「きまりや約束を守るように指導している」では、教職員と保護者の回答に大きな開きがあり、協力して指導していくことが課題である。
改善策	引き続き組織的な体制を維持し、保護者・スクールカウンセラー・外部関係機関との一層の連携を強める。学習習慣や生活習慣（朝食の欠食など）が身につけていない児童には、保護者の一層の理解を得られるように努め、個々の家庭と連絡を取ることをバランス良く行って、習慣化を図る。規範意識の向上に、保護者も同じ方向を向いて指導ができるように、生徒指導のねらいや教員の思いが伝わるような資料の配布や懇談会ができるようにする。
Ⅴ 地域との連携について	
達成状況	いきいき人材の活用、読み聞かせボランティア、外部講師の招聘など、地域の教育力を生かす取り組みを積極的に進めてきた。また、PTA作業、運動会への保護者の協力も得ているところである。また、パトロールボランティアによる登下校指導への協力もいただいている。これらに限らず、地域の方々から本校の教育に多大な協力をいただいている。
改善策	学校開放日・HP・各種通信を充実させ、保護者、学校評議員や学校応援団の方・地域の方などへ学校で何が行われていて、どんな状況なのか情報発信を積極的に行うことや、様々な場面を利用して、地域の意見や願いを聞くことを大切にする。
Ⅵ 学校の特色に関して	
達成状況	「あいさつ」は、児童会であいさつ運動に取り組み、教員もよく指導をしている結果、よくあいさつができる児童が育っているが、地域の人とのあいさつが課題である。地域の人と気持ちよいあいさつができるように、授業参観や学校開放日・PTA活動を通じて根気強い取組を続けていきたい。「学校行事」は充実している。
3 まとめ	
<p>〈成 果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート結果は、肯定的な結果となり概ね良い状態だと考えられる。保護者や地域の方々のご協力、市教委のご支援のおかげと感謝している。引き続き、「チーム竜王西小」として、組織的な教育活動を行っていきたい。 <p>〈課 題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童アンケートの回答に見られた、否定的な評価をしている児童の存在には十分留意し、保護者・地域・関係機関との一層の連携を図りながら、個別の指導・支援を行っていく。望ましい基本的生活習慣の定着を図り、学校教育目標の達成をめざして保護者・地域の方々と共に手を携え、今後とも地道な努力を重ねていきたい。 	

